

故事成語その5

名前 解答

解答

問 次の文の意味の故事成語を [] から選べ。

- ① 子どもの教育には環境が大切であるということ。
 (孟母三遷の教え)
- ② 他人の意見や忠告を、真剣に受け止めず聞き入れないこと。
 (馬耳東風)
- ③ 他人の劣った言動を、自分を磨く戒めとして役立つこと。
 (他山の石)
- ④ その時の状況に応じて、適切に対処すること。
 (臨機応変)
- ⑤ 危険を冒さなければ欲しいものは手に入らないということ。
 (虎穴に入らずんば虎子を得ず)
- ⑥ 仲の悪い者同士が同じ場所にいたり、力を合わせた
 りすること。
 (呉越同舟)
- ⑦ 言い出した者から実行するべきという意味。
 (隗より始めよ)
- ⑧ 小さな力でも、根気よく続ければ成し遂げられると
 いうこと。
 (雨垂れ石を穿つ)
- ⑨ 長い間、心配事や悩み事を抱えていること。
 (白髪三千丈)

臨機応変 虎穴に入らずんば虎子を得ず
 呉越同舟 馬耳東風 他山の石 隗より始めよ
 孟母三遷の教え 白髪三千丈 雨垂れ石を穿つ

- ① 時代の移り変わりに気付かず、古い考えや慣習にこ
 だわること。
 (舟に刻みて剣を求む)
- ② 人から話を聞くより、実際に自分の目で確かめる方
 がわかる。
 (百聞は一見に如かず)
- ③ 人から疑われる紛らわしい行為は慎むべきだとい
 うこと。
 (李下に冠を正さず)
- ④ 失敗した者はその件について意見を言う資格がない
 ということ。
 (敗軍の将は兵を語らず)
- ⑤ 幸不幸はより合わせた縄のように交互にやってくる
 ので、それに一喜一憂しても仕方がないということ。
 (禍福はあざなえる縄のごとし)
- ⑥ 日ごろからしつかり準備しておけば、万一のことが
 あつても心配しなくて済むということ。
 (備えあれば憂いなし)
- ⑦ 行いが立派で心がきれいすぎる人の元には、あまり
 人が寄りつかないということ。
 (水清ければ魚すまず)
- ⑧ 規律も統制もなく、ただ寄り集まっているだけの集
 団。
 (烏合の衆)

水清ければ魚すまず 舟に刻みて剣を求む
 禍福はあざなえる縄のごとし 李下に冠を正さず
 備えあれば憂いなし 百聞は一見に如かず
 烏合の衆 敗軍の将は兵を語らず

